



## 地域・社会との共生

環境活動や次世代育成支援活動、各地域の課題解決活動に重点的に取り組みます。

### 2017年度の主な取り組み内容

#### 地域・社会共生活動の更なる充実へ向けた取り組み…………… P95

- 「九電グループの思い」の実現に向け、「環境活動」「地域の課題解決活動」を重点活動として、「九電みらい財団」を中心にグループ全体で取り組みました。

#### 環境活動…………… P96～97

- くじゅう坊ガツル湿原一帯での環境保全活動として、湿原の野焼きなどに、グループ一体となって取り組みました。(5回実施、約500名参加)
- 山下池周辺社有林「くじゅう九電の森」で、グループ会社との連携のもと、小中学生や親子を対象とした環境教育を実施しました。(24回実施、約1,300名参加)
- 環境保全と環境教育を組み合わせた次世代向け環境イベント「きゅうでん プレイフォレスト」を、2016年度から九州各地で展開し、多数の親子に参加いただきました。(13回実施、約6,600名参加)

#### 次世代育成支援活動…………… P98～99

- 子どもたちを取り巻く現状や課題を踏まえ、子どもたちや子育て世帯を対象とした支援を行う九州の団体の活動に対し、助成を実施しました。(20団体、総額約1,400万円)

#### 各地域の課題解決活動…………… P100～105

- 地域の方々と共に取り組む諸活動「こらぼらQでん」は、活動回数や協働先を増やし、より多くの方々と一緒に活動を行いました。(26件36回実施、約6,200名参加)
- 産学官民で連携して行う地域プロジェクト等に参画し、当社グループの知見や技術、マンパワーなどの当社経営資源を活用した協力を行いました。
- 「平成28年熊本地震」、「平成29年7月九州北部豪雨」両被災地の復旧・復興支援に向けたボランティア活動や福岡市内で開催されるイベントへの被災地産品販売ブースの出店、カタログによる被災地産品の販売斡旋等の取り組みを行いました。

### 2018年度の主な行動計画

#### 地域・社会共生活動の更なる充実へ向けた取り組み

- 「九電グループの思い」の実現に向け、「環境活動」「次世代育成支援活動」「地域の課題解決活動」を重点活動として、グループ全体で推進していきます。

#### 環境活動

- くじゅう坊ガツル湿原一帯での環境保全活動は、各活動を着実に実施するほか、湿原の活用に向けた活動の充実を図ります。
- 「くじゅう九電の森」での環境教育は、1回あたりの参加者数を増加させるとともに、プログラムの充実を図ります。
- 九州各地での環境活動「きゅうでん プレイフォレスト」は、なるべく多くの方に参加機会を提供するために、各県で2回ずつ、場所を変えて実施します。

#### 次世代育成支援活動

- 子どもたちの健やかな成長を応援するための助成事業は、助成先団体の活動を九電みらい財団のホームページ等で紹介するとともに、助成先団体との協働やボランティアなどによる幅広い支援を展開していきます。

#### 各地域の課題解決活動

- 「こらぼらQでん」は、企画・実践スキルを向上させ、活動回数・内容ともに充実させて取り組んでいきます。
- 地域経済の活性化に向け、自治体や経済団体が行う地方創生の取り組みなどに協力していくとともに、まちづくりや地域資源磨きなどの地域固有の課題に対しても、地域のNPOや団体と協働して取り組みます。

# 地域・社会共生活動の更なる充実へ向けた取り組み



## 地域・社会共生活動基本方針

当社は創業以来、地域社会の発展と地域との信頼関係が当社の持続的発展の基盤であるとの認識の下、「地域・社会共生活動基本方針」を2006年4月に制定し、さまざまな地域・社会共生活動に取り組んできました。

### 地域・社会共生活動基本方針

九州電力は、快適で豊かな地域・社会の実現と、その持続的な発展を目指し、以下の原則に基づき、良き企業市民として、積極的に地域・社会共生活動を推進します。

- 1 「地域振興」「文化・芸術」「スポーツ」「学術・教育」「社会福祉」「健康・医療」「国際交流」「環境保全」の分野で、魅力ある地域づくりや次世代層の育成などを行うとともに、地域・社会の課題解決に向けた取り組みを行います。
- 2 当社の持つ経営資源を有効に活用した取り組みを行います。
- 3 活動内容を公表し、皆さまとコミュニケーションを図ることにより、その声を諸活動に反映させるとともに、地域・社会の皆さまとの協働を進めます。
- 4 従業員が一市民として行う共生活動を支援します。

2006年4月制定

2011年7月改正

### 「九電みらい財団」の情報発信

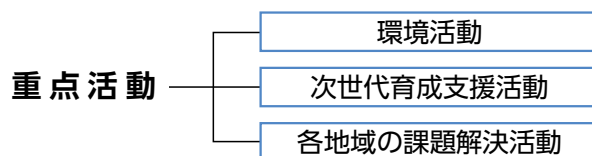
ホームページの他、Facebook、Instagramで情報を発信しています。

|             |                                                |                                   |
|-------------|------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 〔ホームページ〕    | <input type="text" value="九電みらい財団"/>           | <input type="button" value="検索"/> |
| 〔Facebook〕  | <input type="text" value="九電みらい財団 Facebook"/>  | <input type="button" value="検索"/> |
| 〔Instagram〕 | <input type="text" value="九電みらい財団 Instagram"/> | <input type="button" value="検索"/> |

## 重点活動の設定による地域・社会共生活動の充実

地域の皆さまの期待に応え、地域の課題解決に貢献する地域・社会共生活動を更に充実させるため、環境保全活動や環境教育などの「環境活動」や、子どもの健全育成に寄与する「次世代育成支援活動」、地域の皆さまと協力して取り組む「地域の課題解決活動」などを重点活動に定め、グループ全体で推進することとしています。

特に、「環境活動」と「次世代育成支援」については、財団法人「九電みらい財団」を設立し、財団法人の活動を通じて、『ずっと先まで、明るくしたい。』をブランドメッセージとする「九州電力の思い」の実現に向け、今後とも地域への貢献活動に積極的に取り組んでいきます。



## 「九電みらい財団」の設立

地域の皆さまの期待に応え、地域の課題解決に貢献する活動を更に充実させるため、「環境活動」と「次世代育成支援活動」を行う「九電みらい財団」を2016年5月に設立しました。

本財団では、地域の皆さまと取り組んできたくじゅう坊ガツル湿原での環境保全活動や、当社の水源かん養林を活用した環境教育活動を充実させるとともに、地域の諸団体の皆さまが実施する次世代育成支援活動に対して、助成を行っています。

### 〔活動内容〕

- 環境活動
  - ・坊ガツル湿原(大分県竹田市)での環境保全活動
  - ・山下池周辺(大分県由布市)での環境教育活動
- 次世代育成支援活動
  - ・地域の諸団体が実施する「子どもの育成支援や子育て世帯支援活動」などの活動への助成

## 環境活動



### 坊ガツル湿原での環境保全活動（「九電みらい財団」が実施）

くじゅう坊ガツル湿原は、大分県西部に位置し、周囲を九重連山に囲まれた高原性の湿原（約53ha）で、多様な地質・地形を反映した希少な生態系を有することなどから、2005年に国際的に重要な湿地の保全を目的とする「ラムサール条約」に登録されています。

当社は、坊ガツル湿原の保全及びその一帯に生息する希少植物の保護のため、環境省や竹田市、九重の自然を

守る会など地域の方々との協働により、野焼き活動や外来植物駆除活動、隣接する平治岳（当社社有地）のミヤマキリシマ植生保護活動を行っています。

これらの活動は、2016年度から九電みらい財団が主体となって実施しており、現在は野焼き活動の担い手となるリーダーの育成などの充実策にも取り組んでいます。



坊ガツル湿原の野焼き

地域・社会との共生

### 山下池周辺（大分県由布市）での環境教育活動（「九電みらい財団」が実施）

九電みらい財団は、山下池周辺（大分県由布市）の当社社有林「くじゅう九電の森」の豊かな自然環境を活用し、グループ会社の九州林産㈱と連携しながら、体験型の環境教育を行っており、2017年度は24回実施し、1,280名にご参加いただきました。

#### 「くじゅう九電の森」での環境教育活動

この環境教育では、子どもたちの環境保全意識を啓発し、将来の九州の環境保全につなげることを目的として、地球温暖化の現状と森の役割を学ぶ座学と、「林業体験」「森林観察」「木工教室」などの体験学習を組み合わせたプログラムを実施しています。



林業体験



森林観察



木工教室

## 九州各地での環境活動「きゅうでん プレイフォレスト」

子どもたちの環境を大切にする心を育むため、九州各地の森で「学ぶ」「守る」「楽しむ」の要素を織り込んだ環境活動『きゅうでん プレイフォレスト』を2016年度から実施しています。

各地の環境団体や企業の皆さまと一緒に、子どもたちがワクワクするようなブースを準備し、これまでたくさんのご家族が参加され、森の中で楽しみながら、自然の大

切さを学んでいただきました。

今後も、このような体験を通じて子どもたちが自然や環境のことを大切と感じてくれるよう、2018年度も、九州のいろいろな森で展開していきます。



企業・IR情報⇒会社情報・CSR⇒CSRの取り組み⇒地域・社会との共生⇒プレイフォレスト

### ●活動実績(2017年度)

| 地 区 | 日 付         | 会 場                   | 来場者数 | 地 区 | 日 付         | 会 場                  | 来場者数   |
|-----|-------------|-----------------------|------|-----|-------------|----------------------|--------|
| 北九州 | 2017年10月1日  | 北九州市立山田緑地(北九州市小倉北区)   | 807名 | 熊本  | 2017年10月7日  | 四季の里旭志(熊本県菊池市)       | 513名   |
|     | 2018年3月11日  | 筑豊緑地(福岡県飯塚市)          | 729名 |     | 2018年3月17日  | 人吉クラフトパーク(熊本県人吉市)    | 340名   |
| 福岡  | 2017年5月21日  | 夜須高原記念の森(福岡県朝倉郡筑前町)   | 622名 | 宮崎  | 2017年5月14日  | 法華獄公園(宮崎県東諸県郡国富町)    | 610名   |
| 佐賀  | 2018年3月21日  | 北山少年自然の家(佐賀市富士町)      | 373名 |     | 2017年11月23日 | 同 上                  | 543名   |
|     | 2018年3月25日  | 佐賀県立森林公園(佐賀市久保田町)     | 756名 | 鹿児島 | 2017年12月2日  | 鹿児島県民の森(鹿児島県姶良市・霧島市) | 280名   |
| 長崎  | 2017年7月9日   | 平成新山ネイチャーセンター(長崎県島原市) | 151名 |     | 2017年12月3日  | 同 上                  | 480名   |
|     | 2017年11月19日 | ながさき県民の森(長崎市・西海市)     | 413名 | 合 計 |             |                      | 6,617名 |



間伐材を活用した「マイ箸づくり」



ロープで木に登る「ツリーイング」



伐採した竹を活用した「竹炭焙煎コーヒー」

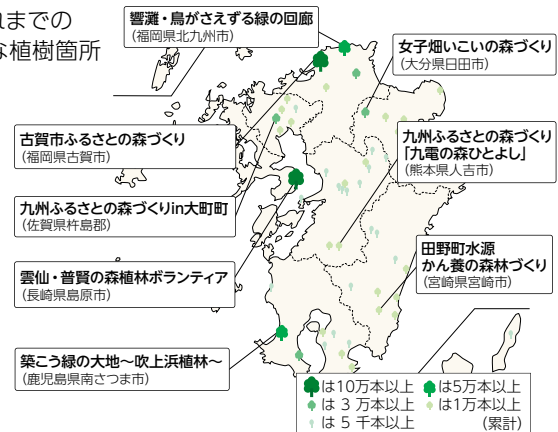
### ●15年間実施してきた「九州ふるさとの森づくり」

「九州ふるさとの森づくり」は、2001年度から取り組んでいる植樹や育林活動\*で、低炭素社会の実現や生物多様性の保全を目的として九州各地で実施してきました。

2015年度でこの取り組みは終了しましたが、15年間で延べ642か所所で約117万本もの苗木を植樹し、約15万人の方々にご参加いただきました。

※植樹した苗木の成長を助けるため、植樹後3年程度、苗木の周りの下草刈を行う活動。

### ●これまでの主な植樹箇所



## TOPICS

### 「九電みらい財団」の活動が2つの賞を受賞

「九電みらい財団」の活動が評価され、2017年度に2つの賞を受賞しました。

#### 【環境保全活動】

2017年12月、地域の方々と協働で取り組んでいる「くじゅう坊ガツル湿原一帯における野焼き等の環境保全活動」が、「第6回いきものにぎわい企業活動コンテスト\*」において、「公益財団法人水と緑の惑星保全機構会長賞」を受賞

※主催：いきものにぎわい企業活動コンテスト実行委員会  
後援：環境省、農林水産省、経団連自然保護協議会

#### 【環境教育活動】

2017年10月、「くじゅう九電の森」での環境教育の取組みが、「Forest Good 2017 ～間伐・間伐材利用コンクール～\*」において、間伐実践・環境教育部門の「特別賞」を受賞

※主催：間伐・間伐材利用推進ネットワーク  
後援：林野庁、間伐推進中央協議会



第6回いきものにぎわい企業活動コンテスト



Forest Good 2017

# 次世代育成支援活動



## NPOなどの諸団体が取り組む次世代育成支援活動への助成事業（「九電みらい財団」が実施）

九電みらい財団は、少子高齢化や共働き世帯の増加、地域のつながりの希薄化などにより、子どもたちの育成環境が大きく変化する中、九州の未来を担う子どもたちの健やかな成長を応援するため、NPOなどの諸団体が取り組む次世代育成支援活動への助成事業を実施しています。2017年度は103件の応募があり、選考委員会での

選考を経て、20件の活動に助成しました。

また、それぞれの助成先の素晴らしい活動を広くお知らせすることも助成事業の目的としており、活動を取材し、各団体の活動の様子や活動にかける思いを九電みらい財団のホームページで紹介しています。

### 【募集した活動】

#### ・子どもたちへの支援活動

体験を通じて、子どもの社会性や協調性、規範意識などを育むこと、及び九州地域を大切にする子どもの育成を目的とした活動

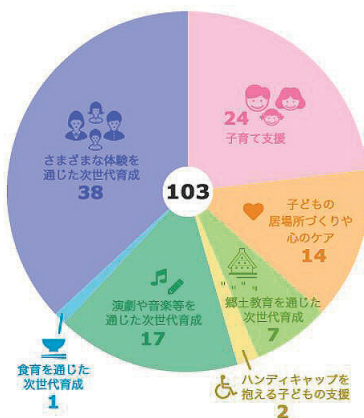
#### ・子育て世帯への支援活動

共働き世帯や非正規雇用の増加、地域のつながりの希薄化など、子育て世帯を取り巻く厳しい状況を緩和することを目的とした活動

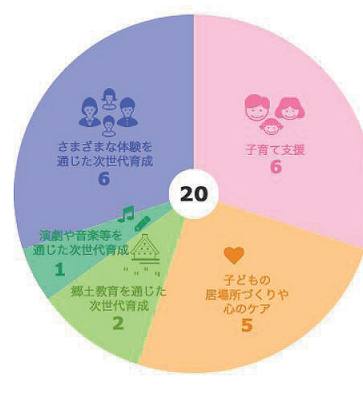


助成団体応募チラシ

### 2017 年度 活動分野別の応募・助成実績



応募件数



助成件数

地域・社会との共生

### 【2017 年度の助成先団体】



団体名：ぼちぼちの会（福岡）  
活動名：親子レクリエーション



団体名：ステージ中津491（大分）  
活動名：職人フェスティバル



団体名：結シアター手舞（鹿児島）  
活動名：天城町中学生・高校生・青年・保護者と地域の絆づくり

親子による屋外での集団活動を実施することで、不登校などの課題に親と子の両面から解決・改善を図る。

職人技の体験を通して、子どもたちにもものづくりの面白さを伝えるため、商店街で「職人フェスティバル」を開催。

島の方言「島口」を使ったミュージカル公演を開催することで、島の歴史や文化、伝統芸能などの魅力を子どもたちに継承する。

## 次世代層支援プロジェクト「九電みらいの学校」

九州の子どもたちに、エネルギー・環境や文化・芸術等に関する学びや出会いの場を提供し、子どもたちの好奇心を刺激するとともに感性を豊かにすることを目的に、活動を展開しています。



### ◎ 出前授業

小・中学生、高校生を対象に、当社社員が講師となって電気や環境、エネルギーについて授業を行う「出前授業」に取り組んでいます。

「電気をつくるしくみ」や「暮らしとエネルギー」などのテーマで、見て、ふれて、体験しながら、エネルギーに関する生きた知識を、子どもたちに身につけてもらっています。

2017年度は、約520回、約16,000名以上の子どもたちに学んでもらうことができました。



出前授業

### ◎ エコ・マザー活動

子どもたちへの環境教育支援と保護者の皆さまへの環境情報の提供を目的とする「エコ・マザー活動」に取り組んでいます。

この活動は、九州各地で地域のお母さま方が「エコ・マザー」として保育園などを訪問し、環境紙芝居の読み聞かせ等を行い、小さなお子さまに環境への配慮の大切さを伝えています。



エコ・マザー活動

2017年度は、200回、約16,000名のお子さまや保護者の皆さまにご参加いただきました。

なお、これまでの15年間で、計3,600回以上実施し、約25万名の皆さまにご参加いただいています。

### ◎ 運動部によるスポーツ教室

当社の「シンボルスポーツ」であるラグビー部「キューデンヴォルテクス」では、地域の皆さまから愛され、親しまれるチーム作りを行うとともに、小学校の体育授業におけるタグラグビー教室やイベントへの参加など、ラグビーを通じた地域スポーツの活性化に取り組んでいます。2017年度は、73回、約5,800名の皆さまにご参加いただきました。



小学校の体育授業におけるタグラグビー教室(福岡市東区)

また、バスケットボール部「九州電力アーティサonz」でも、バスケットボール教室を開催しており、「柔道部」や「テニス部」などでも、スポーツを通じて、地域の子どもの育成に取り組んでいます。

## 子どもくるくる村in九電

2017年6月、NPO法人循環生活研究所と協働で、子どもたちが就業体験を通じて仕事とお金の関係や循環型社会について学ぶイベント「子どもくるくる村」を、電気ビル共創館(福岡市)で開催しました。「子どもくるくる村」は子どもたちがお仕事を体験し、働いて得た給料(擬似通貨)で買い物やゲームができるイベントで、2000年から同法人が実施しています。

当社からは高所作業車への搭乗や電柱の上に作られ

たカラスの巣を撤去する「電気屋さん」を出展、当社グループ会社からも、九州林産(株)による「おはし工房」や記録情報マネジメント(株)による「はがき屋さん」などのブースを出展しました。また、運営スタッフとして、グループ会社19社から81名のスタッフが参加しました。

当日は約600名の子どもたちが参加し、笑顔いっぱい初めて体験するお仕事を楽しんでいました。



電気屋さん(当社)

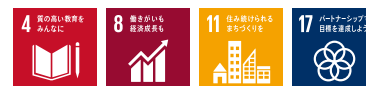


おはし工房(九州林産(株))



はがき屋さん(記録情報マネジメント(株))

## 各地域の課題解決活動



### 地域の皆さまと取り組む「こらぼらQでん」

当社は、NPOや地域の方々と協力して地域の課題解決に取り組む「こらぼらQでん」を九州各地で展開しています。

2017年度は、九州全域で計26団体と計36回の活動を行い、約6,200名の方にご参加いただきました。

今後も、地域が抱える課題の解決に向けて、より多くの地域の方々と一緒に取り組んでいきます。

#### 名称とロゴマーク



「こらぼら」とは、「コラボレーション」と「ボランティア」を掛け合わせた造語です。

### 漂流ゴミに困る離島を救う、馬島清掃団

～こらぼらQでん×私たちの未来環境プロジェクト～

2017年9月に北九州市の離島、馬島で海岸に漂着したゴミの清掃活動を行いました。九電グループ及び一般の方々で結成された清掃団70名は20分かけて島へ上陸。団員みんなで力を合わせ、400kg以上の漂流ゴミを拾いました。地元の方からは、「少ない島民だけではとても対処できずに困っている。3年間も続けていただき、本当に感謝している。」という言葉をいただきました。この馬島に目を向ける人の輪が広がり、白く綺麗な海岸になることを祈っています。

#### 北九州



### きゅうでん米作りプロジェクト

～こらぼらQでん×公益財団法人オイスカ西日本研修センター～

日本の原風景を残す、福岡市の早良区協山地区。今年も都市部に住む子どもたちと1年かけて米作りを行いました。スタートは6月の田植え。初めて体験する田んぼの感触に、子どもも大人も歓声を上げていました。7月の草取りに続き、9月最終章の稲刈り。慣れない鎌を使って、一束一束、丁寧に収穫しました。獲れたお米は約750kg。稲刈り後にみんなで食べた新米のおにぎりは何よりの御馳走でした。私たちの食卓に欠かせないお米がどのように作られているか、子どもたちに体験を通じて知ってもらえればと考えています。

#### 福岡



### 佐賀駅北を盛り上げます「第3回駅北く～よかFES」開催

～こらぼらQでん×ふれあい町づくり実行委員会～

10月に開催した「第3回駅北く～よかFES」。佐賀駅北側をもっと活気ある町にしたいという、地元の熱い想いを受け、周辺の企業やお店の方々とゼロから一緒に作り上げたイベント。当社グループからは、九電産業(株)、(株)QTnet、ニシム電子工業(株)も参加。高校生による吹奏楽の演奏、地元出身のミュージシャンによる生ライブ、ミニSLの搭乗体験、芋ほり体験やIH簡単クッキング教室など、7つの会場で多彩なブースを出展しました。あいにくの悪天候にも関わらず、来場者は約1,800名。マップを手に楽しそうに会場を周遊する来場者を見て、これからも駅北を地域の方々と一緒に盛り上げていきたいと思いました。

#### 佐賀



### 「九電みらいの森」をずっと先まで

～こらぼらQでん×長崎県森林ボランティア支援センター～

2018年3月に、島原市の垂木台地「九電みらいの森」において、整備活動ボランティアを行いました。この場所は、当社が平成13年から10年間にわたり、のべ12万人のボランティアが約11万本の植樹を行った場所です。当日は晴天の下、環境団体や地域の方々、地元の学童保育の子どもたち約100名で、樹木に覆い被さった蔓(つる)の除去作業等を実施。参加者からは、「はじめて植樹して、とても楽しかった」などの感想をいただきました。地域の方々と一緒に育ててきた「九電みらいの森」をずっと先まで守っていきたいと考えています。

#### 長崎



## 普段は手の届かない所を、当社の技術力を活かすことで ～こらぼらQでん×竹田市～

2017年11月に、大分県竹田市の観光名所である岡城跡において、市の代表的なお祭りである竹田竹灯籠「竹楽」開催前のおもてなし活動として、石垣清掃を実施しました。

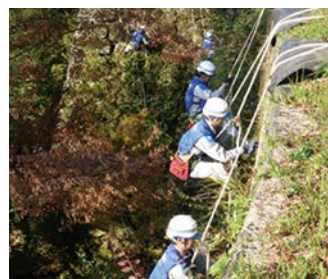
この活動は昭和55年から30年以上継続しており、今回は九電グループ(当社、(株)九電工)の社員だけでなく、竹田市民の方々にもご協力いただき、総勢200名で実施しました。

高さ約10メートルの石垣から垂らしたロープを伝い降りながらの除草や、高所作業車を活用した草刈など、当社の技術力を最大限活用。

地上の草刈や手の届く範囲の石垣においては、竹田市民の皆さまと一緒に除草・清掃を行いました。

今後も地域の方々と一緒に、地域の大切な観光資源を守っていきます。

## 大 分



## 世界遺産をより美しく

### ～こらぼらQでん×宇城市×三角西港ファン倶楽部～

2017年11月に宇城市の世界遺産「三角西港」で、昨年に引き続き清掃ボランティア活動を行いました。

三角西港は、幕末から明治の終わりにかけて、石炭産業で日本の重工業化に貢献した港で、水路や橋など当時の施設がほぼ原型のまま残っており、2015年にその文化財的価値が認められて、世界文化遺産に登録されました。

当日は、宇城市、三角港管理事務所、三角西港ファン倶楽部、三角西港区の皆さまと協働で実施。総勢90名で旧裁判所・船問屋等の文化財や石畳の清掃のほか、当社の高所作業車を活用した樹木の伐採なども行いました。

今後も地域の方々と一緒に、貴重な文化遺産を守っていききたいと考えています。

## 熊 本



## 山村留学の子どもたちのために

### ～こらぼらQでん×奥日向銀上山村留学実行委員会～

2017年11月に、西都市の銀鏡(しろみ)・上揚(かみあげ)地区にある烏帽子岳の登山道整備を行いました。

この活動は、同地区で行われている「山村留学」の行事の一つである、烏帽子岳登山の事前準備として実施したものです。

当日は、険しい登山道を進みながら、危険箇所へのロープ掛けや足場作りなどを実施。山村留学している小中学生が安全に登山できるようことを込めて、作業を進めました。

地元の方からは「近年、人手不足で十分な整備ができていなかったのが助かった」という感謝のお声を。子どもたちを無事、安全な登山に送り出すことができました。

今後も、山村留学に参加する子どもたちが笑顔で登山を終えられるよう、継続的に協力していきます。

## 宮 崎



## 花いっぱい公園作り

### ～こらぼらQでん×NPO法人小さな絆&真砂本町社会福祉町内会～

2017年5月(甲突川右岸緑地公園)と2018年2月(真砂本町公園)に、かねてから地域の皆さまと公園の一角に作ってきた芝桜の花壇のメンテナンスを行いました。

当日は除草、肥料散布、芝桜の植付けなどを行い、見違えるほどきれいな花壇が復活。また、活動後には、地域のフラワーショップ様の協力により、ガーデニング教室も開催し、こちらも参加者から好評でした。

当社は今後も、「花いっぱいの公園作りによる地域の皆さまの憩いの場創出」をコンセプトに、地域活性化のお手伝いのため、花壇の植付けやメンテナンスを継続していきます。

## 鹿 児 島



## 地域振興への協力

産学官民で連携して行う地域プロジェクト等に対して、当社グループのノウハウや知見を活用し、積極的に協力しています。今後も、自治体等が行う「地方創生」の取組みなどに協力していくとともに、まちづくりや地域資源磨きなどの地域固有の課題に対しても、地域のNPOや団体と協働し、地域経済活性化に向けて取り組んでいきます。

### ●耳川水系ダムを観光資源とする地域との協働の取組み(宮崎県)

上椎葉ダムをはじめ8つのダムが立地する日向・東臼杵地域において、耳川流域近郊5市町村及び観光協会・商工会議所等で構成する「日向・東臼杵広域観光推進協議会」と連携し、耳川水系ダムを観光資源とした「インフラツーリズム」による地域活性化に取り組んでいます。

この取組みの一つとして、2017年7月から耳川水系8つのダムのダムカードを発行し、ダム周辺の商店や観光施設での配布を開始しました。この結果、ダム愛好家をはじめ多くの方が耳川を訪れ、2018年3月までに3,538枚をお渡しすることができました。そのうちの約7割は県外からのお客さまであり、日向・東臼杵地域の交流人口の拡大に繋がっています。

また、協議会と協働し、ダム見学やダム湖遊覧ツアーにも取り組んでおり、今後も協議会との協働により、更に多くの方々にお越しいただけるようダムや水力発電所など多様な観光資源を活かした地域の観光振興に寄与していきます。



ダムカード



上椎葉ダム湖クルージング

### ●佐賀県主催の「肥前さが幕末維新博覧会」とタイアップした地域振興の取組み(佐賀県)

佐賀県では、明治維新150年を記念した「肥前さが幕末維新博覧会」(2018.3.17~2019.1.14)が開催され、さまざまな観光振興の取組みが行われています。当社でも、この博覧会に合わせ、企業の自主企画として「さが電気の歴史展」を開催中です。

明治41年に建設され、現在も現役で電気を灯し続けている広滝水力発電所にスポットを当て、発電所の建設をめぐる物語(漫画)などのパネルを支社ビルで展示しているほか、普段は公開していない発電所内部も見ることのできる現地見学会を実施しました。



広滝水力発電所見学会

### ●天草地域を中心としたEV(電気自動車)カーシェア推進の取組み(熊本県)

2017年7月から長崎市の長崎港と熊本県天草市の崎津漁港を結ぶ定期高速船が運航されることとなり、これに先立つ5月26日~28日の3日間、関係者などを招いたモニターツアーが開催されました。

当社グループの九電テクノシステムズ(株)では、当ツ

アーにおいて、天草市のご協力のもと、モニターツアーに参加されたお客さまを対象とした電動カートや電動自転車の試乗イベントや、観光客向け電気自動車レンタル事業などを行い、天草地域における環境保全と観光振興に向けた取組みに協力しました。

## 被災地復興支援に向けた取組み

2017年7月に発生した九州北部豪雨の被災地復興に向け様々な活動を行っています。また、2016年4月に発生した熊本地震の被災地復興に向けても継続して支援の取組みを行っています。

(この他の取組みについて、P26でも紹介しています)

### ●九州北部豪雨被災地での「トリプルボランティアツアー」

2017年9月、グループ会社の九電旅行サービスとともに、「ボランティア作業・観光・情報発信」の3点で被災地を支援する「トリプルボランティアツアー」を実施しました。被災家屋の片付けなどのボランティア作業を実施した後、宿泊客のキャンセルが相次ぐ被災地周辺の施設に宿泊、翌日は被災地域の観光を行い、被災地の現状や観光地の魅力をSNSで発信しました。



トリプルボランティアツアー

### ●被災地仮設団地における「健康・料理教室」の開催

熊本地震で被災した上益城地域と九州北部豪雨で被災した朝倉地域の仮設団地において、入居者間の交流を目的の一つとして「健康・料理教室」を継続的に開催しています。

教室では、管理栄養士による講話や当社保健師による健康相談、ホームアドバイザーがIH調理器で調理した料理の提供などを行い、参加者の皆さまから多くの感謝の言葉をいただいています。2018年3月までに両地域併せ計11回実施しており、2018年度も引き続き実施していくこととしています。



健康・料理教室

### ●被災地特産品の販売支援

熊本県産品を集めたカタログを作成し、当社グループ及び全国の電力会社へ広く購入斡旋を行いました。多くの厚意をいただき、売上金の一部約243万円について、2017年7月、熊本県へ寄附することができました。

また、2017年11月には、グループ会社の九電産業と協働し、九州北部豪雨及び熊本地震被災地の特産品を掲載した特集リーフレットを作成。当社のネットワークを通じ、商

品購入の呼びかけを行いました。こちらについても2018年4月、売上金の一部約31万円を福岡県及び熊本県へ寄附することができました。

2017年12月には、「福岡クリスマスマーケット2017」との共同企画として、JR博多駅前会場に九州北部豪雨及び熊本地震復興支援の物産販売カウンターをそれぞれ出店し、多くの方にお買い求めいただきました。

### ●熊本地震被災地の子どもを対象としたスポーツ教室の開催

熊本地震後1年を機に、子どもたちを勇気づけ、夢と希望と笑顔を取り戻すことを目的に地元企業や熊本市と連携し、2017年4月、小・中学生を対象にスポーツ教室を開

催しました。当日は856名の方に来場いただき、当社からはラグビー部・バスケットボール部・テニス部・柔道部の部員が参加し、子どもたちと共にスポーツを楽しみました。

### ●当社保有特許の無償提供

2017年11月、九州経済産業局、熊本県工業連合会、中国電力(株)と協定し、熊本地震で被災された企業に対して当社保有特許217件の無償提供を開始しました。

当社の特許技術を被災された企業に活用いただき、コストを抑えた迅速な新製品開発、新規事業展開に繋がることを期待しています。

### ● 新たな観光サービスモデル事業への技術提供

2016年度総務省「IoTサービス創出支援事業」の分野において、九州周遊観光活性化コンソーシアムが提案した「シェアリングエコノミー型 九州周遊観光サービスモデル事業」が採択されました。この事業は、熊本及び長崎県内の7地域の道の駅等の駐車場に休憩駐車管理システムを導入することで不稼働時間帯の駐車場での中泊を可能とし、そこを起点に地域の観光コンテンツを連携させ、被災地の復興・観光支援につなげる事業です。

当社グループの九電テクノシステムズ(株)は、当事業に参画し、休憩駐車管理システムにおける九電制御装置の開発および製造を担当しました。



九電テクノシステムズ製電源供給コンセントBOX

今後も当社は被災地に寄り添い、様々な形で復興支援に向けた取組みを行っていきます。

## 地域に根ざした活動

地域社会の一員としての役割を果たすとともに、地域の皆さまとのコミュニケーションを深めていくため、地域行事への積極的な参加や、コミュニティの安全・安心の取組みを行っています。

### ● 地域のまつりへの参加

地域活性化や、地域の皆さまとの絆を深めるため、各事業所やグループ会社の社員が地域のまつりへの参加・運営のお手伝いを行っています。

#### ● 2017年度 まつり参加実績

参加者数(社員): 延べ約2,700人



栄の国まつり(佐賀支社)

### ● 地域の清掃活動

九州各地において、高所作業車を使い、城壁や神社の鳥居、地域の街路灯など、普段は手の届かない場所の清掃活動を行っています。



「TAKEO・世界一飛龍窯灯ろう祭り」  
清掃活動(武雄配電事業所)

### ● 地域のスポーツ大会への支援

地域におけるスポーツ活動の活性化やレベルの向上を図り、明るく健康的な地域社会を形成するため、青少年を対象としたスポーツ大会等の支援を行っています。

#### ● 2017年度 スポーツ大会支援実績

24事業所、45大会、15種目、参加延べ約9,000名

### ● 独り暮らしの高齢者のお宅等の配線診断

九州各地において、地域の社会福祉協議会や電気工事事業協同組合、教育委員会等の皆さまとの協働により、重要文化財や独り暮らしの高齢者のお宅の配線診断を行っています。

### ● 地域見守り活動

地域密着の事業形態の特長を活かし、自治体・関係団体との協定や覚書の締結等により、地域の見守り活動や防犯活動への協力を行っています(136のネットワークに参画)。

2017年度は、高齢者等の見守り活動において、九州全域で20件の通報を行いました。

## ●「子ども110番」活動への協力

「子ども110番」活動への協力など、子どもが犯罪に巻き込まれない環境づくりを九州全域で行っています。



のぼり

子ども110番ステッカーを貼付した車両

## 寄附を通じた地域・社会への貢献

九州全域を事業エリアとし、九州の皆さまをお客さまとする当社は、「地域と共に歩み、共に生きる」という考え方のもと、地域社会の発展につながる社会貢献活動の一つとして、一企業市民としての適正な寄附活動を行っています。

|                |                            |                |
|----------------|----------------------------|----------------|
| 2017年度<br>寄附総額 | 自治体条例等に定める<br>救済事業への拠出     | 24百万円<br>(34%) |
| 70百万円          | 地域・社会共生活動<br>としての寄附(詳細は右表) | 46百万円<br>(66%) |

(注)百万円未満は四捨五入しており、内訳と総額の数値が合わない場合があります。

## 収集ボランティア活動

書損じ・未使用ハガキや使用済切手、外貨を収集する「収集ボランティア活動」をグループ会社と一体となり、毎年実施しています。収集物は、地域のNPOやボランティア団体など、地域・社会の課題解決に取り組む団体に寄附しています。

## 従業員が行うボランティア活動の支援

従業員の積極的なボランティア活動を支援するため、ボランティア休暇制度(年間7日間)や活動費用補助、社内掲示板での情報提供などの環境づくりを行っています。

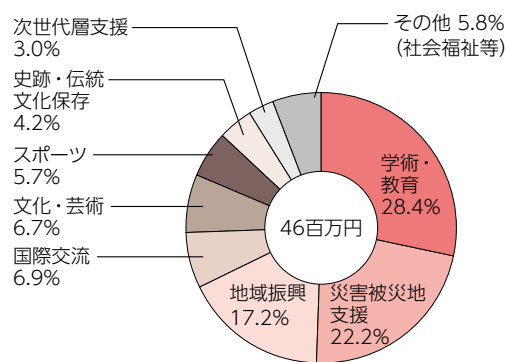
これらの制度を活用するなどして、2017年度は延べ約5万9千人の従業員がボランティア活動に参加しました。

また、これまで長期間にわたる地道な地域社会貢献活動を表彰してきた「地域社会貢献者表彰制度」は、

## ●不法投棄パトロール

業務用車両での移動中などに廃棄物の不法投棄を発見した場合、自治体へ情報提供を行う「廃棄物の不法投棄対策に関する協定」を延べ47の地元自治体と締結し、環境美化の保全に協力しています。

## ●地域・社会共生活動としての寄附内訳(2017年度)



## 収集物寄付先(2017年度)

### 【書損じ・未使用ハガキ】

- 収集枚数 … 4,162枚(約193,680円相当)
- 寄 付 先 … NPO法人 抱樸

### 【使用済切手】

- 収 集 量 … 約45.7kg(約22,850円相当)
- 寄 付 先 … 福岡市社会福祉協議会ボランティアセンター

### 【外貨】

- 寄 付 先 … 公益財団法人 日本ユニセフ

2015年度から、短期間の多種多様なボランティア活動も表彰対象に加えています。

## ●ボランティア休暇制度・地域社会貢献者表彰実績

| 年 度                 | 2014  | 2015 | 2016 | 2017 |
|---------------------|-------|------|------|------|
| ボランティア休暇<br>取得実績(日) | 258.5 | 147  | 433  | 379  |
| 地域社会<br>貢献者表彰(人)    | 16    | 20   | 26   | 28   |